

カメの見分け方

在来種

Native species
そっとしておいてください

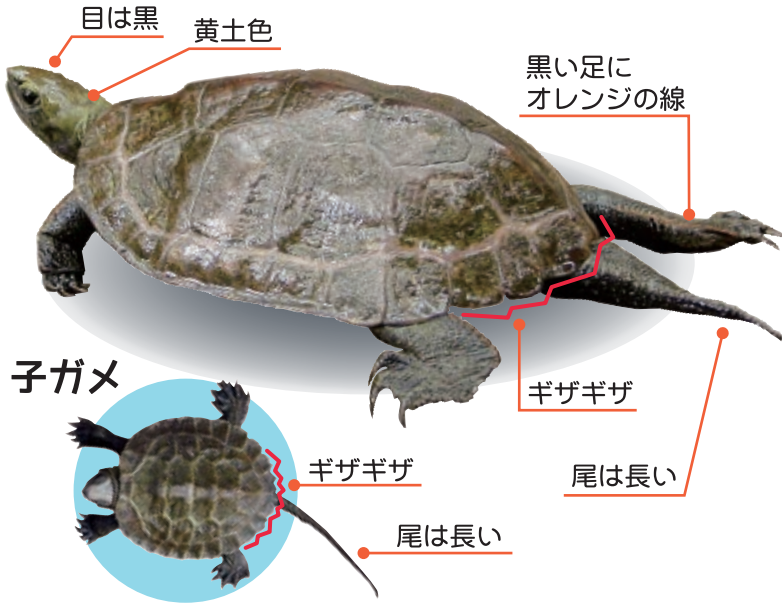
大きさの
測り方



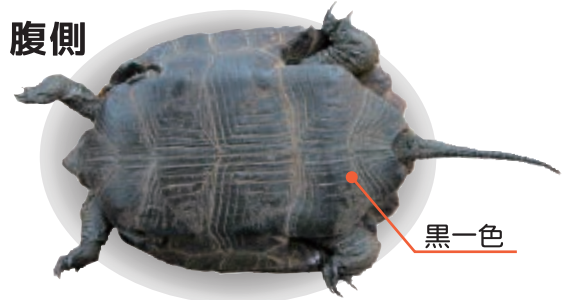
甲羅の中央をまっすぐ計る

ニホンイシガメ 環境省レッドリスト掲載種

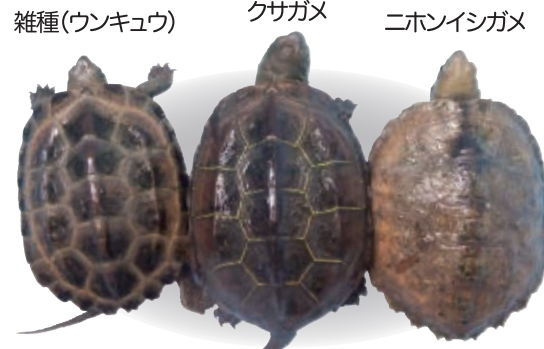
池、水田、川などで見られる。川の上流部にも棲む。
甲羅は最大で22cm。



腹側



ニホンイシガメとクサガメの雑種



両種の特徴が表れるが個体差が大きい。写真の個体は甲羅に3本の盛り上がりがあり、後縁部がギザギザ。

ニホンスッポン 環境省レッドリスト掲載種

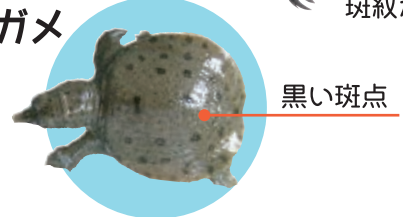
平野部の池、濠、川などで普通に見られる。
首を伸ばして泳いでいることがある。甲羅は35cm。



腹側



子ガメ



淡水ガメのいま

川や池、湿地などに棲むカメは、水辺が埋められたり、岸がコンクリート化されたりして棲めなくなり、生息数が減っています。最近ではさらに、増えた外来カメにすみかを奪われたり、販売目的でたくさん採集されて、絶滅が心配されている地域もあります。

在来カメの危機



すみかの消失



過剰な採集



外来生物の侵入

ペットのカメを大切に。



終生飼養は飼育者の責務です。
生きたカメを投棄すると100万円以下の罰金が科されます。(動物愛護管理法)